県北教育事務所　社会教育だより

つながれ KENPOKU

令和６年７月１１日　発行

県北教育事務所では、家庭教育の推進のために今年度も4つの取組を実践していきます。

1. **地域家庭教育推進県北ブロック会議**（家庭教育の課題を明らかにし、方向性を協議します）
2. **親子の学び応援講座**（市町村や学校のニーズに合った研修会を支援します）
3. **家庭教育支援者地区別研修会**（家庭教育支援者の実践力の育成をします）
4. **家庭教育応援企業推進活動**（子育て世代の従業員の学ぶ機会を創出します）

第１回地域家庭教育推進県北ブロック会議　６月１１日（火）自由民主福島会館会館

ブロック委員からの意見を集約し、ブロック会議の中で話し合いました。その中で、親と子どもの関係に関する内容に注目して課題を明らかにして方向性を協議していくことになりました。

「新テーマ」（R6～R8）

【子どもの成長に、寄り添い、支える、親のかかわり】

〈家族のかかわりでの課題は?〉

あいさつをしない子どもや親もいる。

スマホの普及もあるし、家族で過ごす時間や会話も減っている。親の様々な負担が多く、余裕がない。

〈課題解決のためには？〉

成長過程に応じた接し方講座をやってみては。接し方を親も学ぶ必要があるかも。

毎月、第三日曜日の「家庭の日」を呼びかけてみては。

子どもを真ん中にしながら、親も学校も地域社会も同じ方向を向いて、子どもたちと一緒に成長し合える、そんな県北ブロックを目指しましょう！

ふくしま絆ふれあい支援事業　語り部から聞く震災「ふるさとの今と未来」

二本松市立二本松北小学校　６月２８日（金）
子どもたちに音楽を送る会　佐藤敬子　氏

県では、震災からのさらなる復興を願った「ふくしま」への思いや震災を乗り越えてきた気持ちを共有・共感したり、振り返ったりする体験や交流の機会を支援しています。

今回訪問させていただいた二本松北小学校では、佐藤氏を講師に招きました。最初に校長先生から震災当時の話や「ふるさと」の大切さについてお話がありました。

佐藤氏は、震災の悲しみ、痛みから力強く歩み続けているたくさんの人たちを紹介していただきました。震災当時の写真や音を用いたクイズ、大堀相馬焼の取組等を映像で紹介していただきました。

全校生が、真剣に耳を傾けていました。

（児童の感想）

- **はじめは関心がなかったけど、被災した人たちがどんな気持ちになったのか考えさせられた。**
- **人の力ってすごい。がんばって立ち直っていた姿がすごい。**